

平成22年6月25日
東北経済産業局

平成22年度「地域イノベーション創出研究開発事業」に係る
委託先の公募結果について

「地域イノベーション創出研究開発事業」は、地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官の研究開発リソースの最適な組み合わせからなる研究体を組織し、新製品開発を目指す実用化技術の研究開発を通じて、新たな需要を開拓し、地域の新産業・新事業の創出に貢献しうる製品等の開発につなげることを目的として行う事業です。

平成22年度は、3月19日(金)～4月19日(月)の期間、新規採択に係る公募を行ったところ、当局管内において、18件(全国比7.6%)の応募がありました。

この応募について、書面・ヒアリング等による厳正な審査を行い、5件(全国比11.1%)の採択を決定しました。

採択の詳細は、別添資料のとおりです。

【参考】

(応募)

	合計	一般型	地域資源活用型
全国	237件	114件	123件
東北	18件	12件	6件

(採択)

	合計	一般型	地域資源活用型
全国	45件	12件	33件
東北	5件	2件	3件

【添付資料】

資料1：平成22年度「地域イノベーション創出研究開発事業」東北局採択一覧

資料2：事業の概要

(本件にかかるお問い合わせ先)

東北経済産業局 地域経済部 産業技術課長 山家 一郎

担当者：佐藤(和)、酒井原、佐藤(陽)

電話：022-221-4897(直通)

平成22年度「地域イノベーション創出研究開発事業」東北局採択一覧

【一般型】2件

テーマ名	管理法人	プロジェクトマネージャー	所属	研究体	研究目的
イオン液体と高分子の複合化による高安全固体電解質の研究開発	独立行政法人国立高等専門学校機構鶴岡工業高等専門学校	加納 正史	積水化学工業株式会社	独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校、積水化学工業株式会社、国立大学法人京都大学化学研究所、国立大学法人京都大学エネルギー科学研究科、株式会社エマオス京都	本研究では、従来のリチウムイオン電池および燃料電池の安全性とエネルギー効率を飛躍的に向上できる、世界初のポリマー電解質膜開発を行う。 最終的には、アクシデント時にも燃えない、駆動電圧が2倍のリチウムポリマー電池および広い温度範囲で使用できる燃料電池を実現する新しい電解質膜の生産を目指す。
皮膚評価のためのアレイ型高周波数超音波プローブの開発	株式会社インテリジェント・コスモス研究機構	田村 清志	ケイテック株式会社	株式会社インテリジェント・コスモス研究機構、国立大学法人東北大学、ケイテック株式会社、株式会社日本セラテック、本多電子株式会社	本研究では、超音波振動子をアレイ型に配置した電子走査型高周波プローブを開発し、操作性の優れた皮膚評価用密度計測装置を創出する。 これにより、皮膚の真皮の高精度評価を実現し、美容・医療業界における新たな市場開拓を図る。

【地域資源活用型】3件

テーマ名	管理法人	プロジェクトマネージャー	所属	研究体	研究目的
寒冷地に適応した低コスト太陽光利用型植物工場の開発	地方独立行政法人青森県産業技術センター	宮本 有也	株式会社ホッコウ	地方独立行政法人青森県産業技術センター、株式会社ホッコウ、株式会社ブルーマウステクノロジー、株式会社ホルトプラン、東和電機工業株式会社、国立大学法人弘前大学	国策である植物工場の普及には、冷暖房・環境制御システム等の運営コストが大きな課題である。 本研究では、寒冷地特有の自然環境や地域資源等を有効活用した高効率エネルギー供給システムや低コスト・省力栽培技術の確立により、採算性のある太陽光利用型植物工場のビジネスモデルを構築し、植物工場の普及を図る。
アケビの機能性食品素材及び化粧品素材としての研究開発	財団法人あきた企業活性化センター	坂本 賢二	株式会社坂本バイオ	財団法人あきた企業活性化センター、株式会社坂本バイオ、日本メナード化粧品株式会社、国立大学法人秋田大学	近年の秋田県内の産学官連携による研究により、アケビの種油や果皮等は健康と美容の維持・増進効果をもたらす様々な有用成分を含有することが新たに明らかになり、特許出願に至っている。 本研究では、この成果を生かしてアケビを原料とした機能性食品素材と化粧品素材を開発し、地域活性化および製品の全国的な普及を図る。
有機薄膜電界効果トランジスタ技術を用いたガスセンサの研究開発	株式会社倉元製作所	岩淵 修	株式会社倉元製作所	株式会社倉元製作所、株式会社ナード研究所、国立大学法人岡山大学、国立大学法人東北大学	本研究では、有機芳香族分子を活性層とする薄膜電界効果型トランジスタの高感度ガス検出特性を基に、これまでにない安価な低消費電力型の酸素・水素・湿度同時検出センサを開発する。 また、水素燃料電池をはじめとする市場へ本センサを導入することで、温室効果ガス削減に大きく貢献し、周辺企業との連携によって新たな雇用を創出する。

【事業の概要】

地域イノベーション創出研究開発事業(一般型・地域資源活用型)

(1) 概要

本事業は、地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官の研究開発リソースの最適な組み合わせからなる研究体を組織し、新製品開発を目指す実用化技術の研究開発を通じて、新たな需要を開拓し、地域の新産業・新事業の創出に貢献しうる製品等の開発につなげることを目的としています。今年度は以下の2つの研究開発区分で公募を行いました。

. 一般型

新製品等の開発を目指す実用化技術の研究開発であって、新たな需要を開拓し、地域の新産業・新事業の創出に貢献するとともに、全国的に広く波及効果が期待され、広域的なイノベーションを起こす可能性のある研究開発。

. 地域資源活用型

地域に根差す特有な技術等(地域資源)を活用した新製品等の開発を目指す実用化技術の研究開発であって、新たな需要を開拓し、地域の新産業・新事業の創出に貢献するとともに、都道府県域を越えてイノベーションを起こす可能性のある研究開発。

(2) 応募資格

応募を行う研究体は以下の要件を満たすことが必要です。

(i) 管理法人、総括事業代表者及び研究実施者によって構成される研究体とし、委託研究に必要な技術シーズ、知見を有する者を含む必要があります。

() 研究体は、原則として複数の民間企業を含む構成とする必要があります。ただし、民間企業が中小企業の場合、当該中小企業1社とすることができます。

() 研究体には、大学、高専、試験研究機関等のうちのいずれか1つ以上の機関を含む構成とするものとします。

(3) 契約形態、委託金額、研究開発期間等

. 一般型

- 契約形態: 委託契約
- 研究開発期間: 2年以内(平成24年3月まで)
- 研究開発費: 1年目 3千万円超～1億円以内、2年目 5千万円以内

. 地域資源活用型

- 契約形態: 委託契約
- 研究開発期間: 2年以内(平成24年3月まで)
- 研究開発費: 1年目 5百万円超～3千万円以内、2年目 2千万円以内

事業スキーム（事業の仕組み）

